

## 会員だより 2012

★：昨年元旦から書き始めた5年日記がもうすぐ3年目になる。それまではPC、スマホアプリを使っていたが、脳トレの一環としてアナログの手書きで、連用日記は過去の出来事も振り返れるのでこちらに換えた。一日当り200文字程度だが、漢字を忘れていた事もあり辞書が大活躍している。本当にデジタルのPC/スマホは便利だと思いつくづく思う…。ともあれデジタルでもアナログでも、日記で「1日のけじめ」を付けて出来るだけ楽しい気分で1日を終わりたいと思っているのでこのまま続けていきたい。

K. M

★：4月頃から遠方に行くこともできず家にこもっていた時、転居の話になり、そのまま進めることとなりました。8月に入ってから不動産会社へ売却申し込みをしました。そしたら、土・日曜日を主として内覧があり忙しく対応しておりました。また同時期に、平日休みを利用して新居の建築打ち合わせ（私は同居人として）を行いました。10月が過ぎ、打ち合わせも終わり、涼しくなってきたので、家の荷物の処分をはじめています。物を減らして身軽にして3月転居の予定です。

畑

★：息子家族に次男（孫）が生まれ上の子の面倒やら家事で忙しくなり、5ヶ月間山行を休んでいましたが、少し落ち着き10月より山行を再開しました。季節も良くなり皆さんとの山行は楽しいです。夏山（有るのかしら？）目指しガンバるわよ・・・

福原

## 編集委員だより 2012

★：また、クレジットカードを作ってしまった。月に一度位しか行かないスーパーで、ポイントが良く貯まるという甘い言葉に誘われて入ってしまった。消費税がやはり高いので買い物も知恵を絞る。よく考えたら家族が少ないのに、なんでここまで節約というかポイントを気にしているのだろうか、ホントあほらしくなるのである。いや、私はこうゆう貯めることが本来、好きなんだと気付かされる。ますますカードが増えていく…

T. anden

★：3ヶ月ぐらい前から時たま夜八時頃、台所のドアの前に猫がやってくる。成猫と思しき三毛猫である。恐らく野良猫だろう。静かに待っている。カミさんが気が付いたらそっと餌をやっている。それを食べたらまたそっといなくなる。どこかで餌にありつけた時は来ないだろう。飼ってやりたいが当家には既に先住猫が一匹いる。

W a d a

★：先日、知らないで怖い!“オーラルフレイル“と題してテレビ放送されていた。はじめて聞く言葉だったが、口まわりの筋力が低下する「口腔機能低下症」のこと。放置すると、さまざまな病気につながり、死亡や要介護のリスクが2倍以上になるとか。最近食事のときにむせるようになった、硬い物が食べにくくなったなどと感じたら、ひよっとしたら当てはまるかも、50歳台で約半数、年齢が高くなるほど急増するそう。もちろん、改善のトレーニング方法もあるので調べて試してみよう。

Ouchi

## 会員だより 2011

★：今年、朝顔の苗をいただき、何年かぶりに花を楽しんだ。朝顔の開花時期は夏のイメージだったが、10月始め、夏に咲いていた時より、色は薄くなったが、大輪で、沢山咲いている。夏は、朝9時過ぎには完全に散ってしまっていた花が、10月午後でも咲いている花弁もいくつか有る。涼しくなってきたので、そろそろ咲くのも終わりと思いながら夜眺めてみると、翌朝には咲きそうな蕾が、直立していくつもスタンバイしている。朝顔は、夏休みのイメージが強いが、季語は秋、秋の訪れを告げる花らしい。

Teruteru

★：大山に広がる広葉樹林で「ナラ枯れ」が広がっているという記事を読んだ。枯れた木の葉が赤褐色に変色するため、紅葉と見間違えやすいが一度枯れた木が生き返ることはないということだ。(9月25日朝日新聞) その数日後、3蜜に気を付けて須川温泉から栗駒山へ登った。色づき始めた山頂付近の紅葉は見事だった。アプローチに1日かかるが、錦織りな色彩は一見の価値があると思った。

y m

★：100円玉で300円持って130円のおにぎりを買いました、おつりはいくら？私は170円と答えた、これ理系の人に多い回答で70円と答える人は文系に多いとか。直感よりも現実に基づく推察、歴代先人の思い体験談を自宅近くに生家の在る和辻哲郎の思想や、職場近くの柳田国男、県内では植村直巳加藤文太郎、学生だった福井の深田久弥。いやもっと身近に高御位山遊会の皆さんがいるのではないか、充実した日を楽しんでいます。

春御座

## 編集委員だより 2011

★：新型コロナウイルスの感染拡大が、一向に収まる気配を見せない。先日「安心して感染したい」との漫画の報道があった。自粛警察と称して開店しているパチンコ店に行く人を非難したり、医療や介護従事者の子供が通学を断られたり、止むを得ず営業している店舗や感染者に誹謗中傷する様子も報道されている。まるで村八分の様だ。パチンコに行く人は一種の病気であり、感染拡大期にパチンコに行く行為は責められるべきかも知れないが、行く人を責めるべきではないと思う。「罪を憎んで人を憎まず」「お互い様」の寛容の精神が薄らいでいる様に思われてならない。

もり

★：ネコと暮らし始めて18年。特に暑かったこの夏は高齢の彼女には堪えたようでほとんどの時間眠っていた。それでもお腹は空くようでヨタヨタと起きてきてカリカリをせがむ。大丈夫？と声を掛けるとウ〜と、か弱い返事をしてくれる。ネコの18年は人間でいえば88歳だそうで近い将来の自分を見ているようで身につまされる。秋風が吹くようになった最近では毛艶や足下が少し回復してきた。穏やかな日常が未長く続きますように。

k. yama

★：コロナ禍の終息は未だ見えない状況で、with コロナの生活は続くことになりそうです。コロナ問題は山小屋にも影響を及ぼしていて、一部の山小屋では三蜜対策のため、部屋に仕切りを付けたり、定員を従来の1/2～1/3に減少する小屋も出てきた。この現象は今後広がると推測します。その結果、詰め込み式の宿泊は解消されて助かるが、山小屋では採算が合わなくなるため、必然的に宿代の値上げは避けられないと思う。そうなれば宿泊山行費用が嵩むことになるので、山行計画も工夫する必要があるのではと思う。コロナ禍による影響は山行計画のブレーキになるのではと心配します。

なべ

## 会員だより 2010

★：(3密を避ける) この方針に世の中が一斉に応えると 生活環境が大きく変わっていくことを驚きと共に恐ろしく感じている。さらに世界中が同じくしているため異様ではあるが今では特に不思議な感覚もなく不便ささへ少なく慣れてきた。ただ一つ良い点はTV局における在庫一掃で昔の山番組とか紀行番組などが楽しめていることである。 藤田

★：ふと、日本百名山を何山登っているのだろう。私は考えた。調べてみると45山登頂をしている。百名山を目指していればあとどれくらいの山頂に立てただろう。今年こそはとの思いで、この夏は、3山の予定で楽しみにトレーニングに励んでいたところこのコロナ禍、体力を来年まで維持できることを願うばかり。早く新型コロナウイルスの収束を願い、山をもう少しの間、皆さんと一緒に楽しみたいと思う。 mati-

★：皆さん、お久しぶりです。20期生の福田です。昨年度は21回例会山行に参加し、有意義な日々を過ごさせて頂きました。今年1月のロックガーデンでの息切れ、2月の雪山でまた息切れし、メンバーの方に迷惑お掛けしました。直後、精密検査を受ける様にアドバイスを頂き、今日に至ってます。リハビリ中に「高御位山遊会」は無くてはならぬものと気が付きました。回復後皆さんと涸沢に行きたいと思うようになったからです。今は薬の副作用とうまく折合うように過ごしてます。 福田正彦

★：我が家の庭に、今、黄色の花オクラが真っ盛り。はるばる信州からやってきて、我が家で芽をだし、大きくなりました。コロナがはやり、2月のスノーシューがいけるか心配しました。往路、会長がお世話になったおばあさんのところに寄り、おふくろの味を堪能させていただき、帰りは、花オクラの種のお土産付きでした。咲いた可憐な花におばあちゃんが重なり、今はなつかしきでいっぱいです。 M, M

## 編集委員だより 2010

★：先日家人のノートパソコンを新調した。届いた日に使えるようにし、内部を確認するとメモリの容量がまさかと思うが製品仕様の半分しかない。あわてて販売店に連絡をとると到着後14日間であれば初期不良対応で交換可能とのこと。ただし、その場合、こちらでメーカーサポートにて不良の確認・判断をしてもらうことが条件。お盆休みでなかなかメーカーと連絡がとれない。めんどくさいことになった。オンラインで買うと安い代わり、問題があったときのリスクもあるということか。 Fujimoto

★：座敷机の埃よけに何か掛けるものはないかなと探したところ、物置から懐かしい物が出てきました。若い頃に習ったフランス刺繍のテーブルクロス、ちょうどいい大きさです。が、半分未完成。30個ほど下書きの花が残っていて、1個の刺繍に約1時間半かかります。ハズキルーペをかけてちまちま、終活の一環として年内完成を目標に7月中旬から取り組んでいます。 Sen

★：NHK 神戸放送局の番組「Live Love ひょうご」の「テレビでおさんぽ」コーナーで、市ノ池公園が紹介された。7月はハマボウの花が満開の時、9月2日にはオニバスの花が咲いた時に放送された。オニバスは希少種で巨大な葉を水面に広げ、この時期に紫色の花を咲かせるらしい。放送翌日早速見に行った。市ノ池公園はお馴染みの場所なのにこれまで気が付かなかった。 miki

## 会員だより 2009

★：加東市の三草山登山時に「月山行して見ませんか」というパンフレットに出会い、今年実行中です。コロナウィルスで山行行事が中止になるのではないかと思いましたが、その通知が掲示されないので続けています。登山コースが5ヶ所(三草、三草古道、炭焼窯跡古道、鹿野、畑のコース)あり、毎回違うコースを歩き全コースマスターし終えたので、逆回りを始めています。『令和2年 源平古戦場 三草山スタンプ帳』を片手に毎月楽しんでいきます。お陰で単独山行も自信が付き、初めての山への挑戦も可能になりました。3 密自粛の中で私自身はすばらしい体験ができたと思っています。

藤原 浩

★：このご時勢、憂う事の多い中、「今年は、ラッキー」と思えることがあった。それは、六月に高御位山でも、いつも登っている三草山でも、数輪咲いているササユリと出会えたことだ。「ササユリや」と声をあげてしまい、すれ違う人にまで「もう少し行った右横にササユリが咲いてますよ」声高に話し掛けてしまったのを思い出す。それから、何年かぶりに登った白髪岳では、斜面に咲くショウジョウバカマにも出会えた。気になっていた。山は私に元気をくれる。毎年、出会いたいものだ。

K, H

## 編集委員だより 2009

★：コロナ自粛で山岳小説にハマった。本棚にあった「アイガー北壁」から取り付いて、今、電子書籍で山関連のものばかり読んでいる。加藤文太郎の足跡を辿り、地図を開いて山を確認し、地形や景色を想像するのは楽しい。今更にアルプスの名称や位置関係が分かってきて、もっと早くに読んでいたら去年の白馬岳も一昨年の南アルプスも、その前の西穂高独標も、もっともっと楽しめただろうと思う。自分の愚かさに呆れるが、文太郎の生き様は山への憧れと畏敬の念を新たにしてくれた。

sigepon

★：コロナウイルス感染拡大に伴い、多くの人がオンラインで仕事をこなしたり・交流したりするニュースは多い。私も所属するグループでオンライン交流を7月から開始している。内容は自由トークや学習会の実施である。手軽で出かけずに目的が果たせるメリットは大きい。使用方法等全員が共有するには問題もあるが、無料アプリで時間制限もなく実施できる恩恵に感謝しているこの頃である。

r-sawa

★：つねづね思うのですが、日本の道路事情は何とかなりませんかねー。道路幅のわりには大きすぎる大型トラック。一般国道でのすれ違いはぎりぎり、道路にはみ出している電柱、多すぎる信号機、大型トラックのドライバーは大変です。高速道路以外では一瞬の気も抜けない状況に、これがプロの仕事？日本の物流輸送の中心？ 軽自動車から大型トラックまでが混在している道路事情、トラックの走行に無理のある道路、日本の道路事情にあっていないトラックについては、これを規制して進入する道路を指定する、制限することはできないのか？ヨーロッパでは高速道路以外で大型トラックを見ることは少ないし、大型トラックが走っている道路は広いし一般国道の道路幅に余裕がある。又、街中での横断歩道では信号機が無くても歩行者優先で、車は必ず一旦停止で取り締まりも厳しい。日本では新自由主義のもとトラック業界も規制緩和により競争が激しい状況にあり、トラックドライバーは厳しい労働環境で仕事をさせられている現状が走っている大型トラックの運転状況からも見えてくる今日この頃だ。こんなところにも日本の政治の現状が見えてくる？

Enya のひとりごと

## 上田さんの著書をご紹介します

### 山行記「こころ躍る峰々を行く、山の靴音」のこと

私は若い頃に山に行っていたのだが、20代半ばに交通事故で大怪我をしてわずかだが後遺症も残ったこと、その後時間的にも経済的にも余裕がなくなり長い間山に行かなかった。

50歳近くになって同僚に誘われて三室山や大山に行ったのをきっかけに再び山へ行くようになった。以来約30年、年に2・3度アルプスへ行くことを無上の楽しみにして人生を送ってきた。5月から10月、天気の良い日に山を歩き、雄大な景色や、そこに咲く花々を眺め楽しむ、それが私の山である。

山では誰も争うことがないこと、いろいろ違いのあるメンバーでも、目的を一つにして力を合わせ歩くことができる、それが私にはいいのである。それに山へ行きたいために時には節制し、時にはトレーニングに汗を流す、山は私にとって元気に生きていくために二重三重にいいことだった。

山は三度楽しむことができる、計画で楽しみ、山へ行って楽しみ、写真を見たり思い返して楽しむことができる。加えて私は、いつか山へ行けなくなった時にもう一度楽しむために写真を残し山行記を書いてきた。「山の靴音」はそんなたわいない文章だが、暇を持て余した時にでも開いてみていただければ幸いと思って本にしたものである。

私の友人・知人はお互い高齢になった、加えて今年はコロナのためにほとんどの集会や行事が中止になり会う機会がなかったのだが、山行記を送ったことで電話や手紙をいただいた。それは私が元気で暮らしていることを喜んでくれるもので、私には何よりの贈り物だった。

これまで多くの人に影響を受け、励まされて生きてきたのだが、その人たちが元気であることを！

いっしょに山に登った仲間とともに、これからも山に登れることを！

今年は残念な一年になりそうだが、一日も早く楽しく山へ行ける日が来ることを！

すでに傘寿となり、山へ行けなくなる日が近づいているのだが、その日が一年でも先になることを願っている。

上 田



## 会員だより (新型コロナ緊急事態につき特別編) 2008

### (自粛生活編)

★：自粛生活の中、仕事もコロナの影響を受け、週末の休日に加え5月～7月は平日に休業日が増えました。その平日休みを利用し、一人高御位山へ登った時のこと。頂上でリードにつながれたネコを見かけ『え？ネコ？』と思い近づくと、あるご家族が連れて登ってこられました。とても大人しく、皆がランチを食べている横でカリカリのエサを食べており、近づく私をじっと見つめてくれました。我が家にもネコが居りますが、極度な人見知りのため、このネコちゃんとは全然違うな～と苦笑い。高御位山にはいろんな登山道があり、小さな子供さんから動物まで一緒に登れて、家族で憩える場所なんだな～と改めて実感したひとときでした。

S. A

★：高御位山に登り始めてもうすぐ3年となりますが、毎日のように登り出したのはまだ2年目です。去年は240日登り、今年は300日を目標に通っています。毎日高御位山に登っていると色々な事が楽しめます。その内の一つを紹介します。山歩き教室20期受講者のKさん夫妻とは山頂で良くお会いすることがあり旦那さんに“ガメラ岩”なる岩を教えてもらって岩に登ることに！岩の横に生えている竹をよじ登って岩の上に！まるで小学生の頃に戻ったように楽しませてもらいました。後日仲間達を連れて再度“ガメラ岩”に行ったことは言うまでもありませんが。(高御位山遊会会員の方も“ガメラ岩”に行ったことがある人、手を挙げてと言うと数名挙げます。誰かは内緒ですが)

※ガメラ岩：昔、山腹から落ちてきた岩で地元の子供達がそう呼んでいた。

岩の上は畳が〇〇畳敷ける広さ。

(畳数忘れました)

市ノ池コースの鉄塔から経政神社に向かう途中に有ります。



興味のある人は天野  
さんに案内してもら  
ってください。



天野

★：緊急事態宣言解除され家族の在宅勤務も終了し、孫の子守からも解放され、自由時間が戻り、山登り中心の生活が戻って来た。高御位山遊会は活動中止なので、高御位山の色々なコースを登って楽しんでいる。皆さんと元気に挨拶を交わすだけでもリフレッシュになります。ヨガスタジオも再開され、マスク着用しコロナ太りの体を動かし汗を流した。「継続は力なり」コロナに負けずコツコツと続けていきたい。七夕に「来年は夏山に行けますように☆」願いを込めた。

T. O

★：毎朝の楽しみは、NHK BSプレミアム朝の火野正平さんが自転車で全国をめぐる番組、にっぽん縦断こころ旅を見ることです。しかし、この番組も新型コロナウイルスのため撮影が中止になり、しばらくお休みしておりましたが、この度、放送が再開されます。うれしいです。そして、わたしも休日には自転車で走り、万事気嫌よくすごすことを心がけている、今日このごろです。

はるのすけ

## (お仕事編)

★：風電帷子ノ辻駅らんでんかたびらのつじえきを下車してすぐ西の路地裏に住まいがある。そこは平安京西郊に位置し、古くは、機織で財をなし都の造営に貢献した豪族秦氏がこの地を治めていた。そして租税として朝廷に絹布をうず高く献上していたところからうずまき菟豆満佐の姓を与えられたという。爾来、この地を太秦と称するようになった。ここは江戸期以来の職人の町である。

ひしめきあった町並みは活気がみなぎり、行き交う人々は日々の生活にせわしなく、こどもたちは黄色い歓声をあげながら愉しげに序列を組んでそれぞれの目的の場へと向かっていく。終日にぎやかしいところだが早朝のそれはより顕著である。

自身もそのうちのひとり。雑踏を避けながら、自転車で5分とはかからない職場へとペダルを踏む。到着すると入り口の守衛に入所許可証をみせ、東映京都撮影所と書かれた赤い看板を横切る。機材を運搬する車両やスタッフに混じり時代劇衣装をまとった大部屋俳優たちの姿が散見される。正面には歴史ある4階建ての俳優会館があり、その右手には撮影現場のセットが組まれた11棟のステージとオープンセットが構えている。ここはかつてトーキー映画の剣戟スター阪東妻三郎が開設したキネマの天地だ。

俳優会館出入口付近に設置されている喫煙場所の壁には、その日の撮影スケジュールが貼り出され、いったんそこに立ち寄って目を通す。そこには台本に記載されているシーンナンバー、役柄、出演者の名前、時間、現場などが細かく記され、みなそれを確認し楽屋に入る。以前なら自分の名の横に付随的に書かれた役柄を見て一喜一憂していたものだが、今ではどんな役でも感情の波打つことはない。

ところで、俳優会館には演技課、衣装部、メイク室、吉永小百合さんはじめ大物女優たちも利用する結髪屋のほか、2階はスターさん、3階は大部屋たちの楽屋、4階には稽古場が入っている。年中多くの関係者たちが出入りするそんな撮影所の中核組織は、最盛期には不夜城の様相を呈していた。

スケジュールを確認すると、さっそく3階楽屋で浴衣に着替え、脂粉のにおいが充満する1階メイク室へと駆け下りる。それほど広くもないそこは、鏡の前で肩を並べ顔や頭を作る大勢の俳優たちで大賑わいだ。順番など待ってはられないから、他者の袖の下から顔をひょっこり出して鏡にうつる自分の顔を確認する。衣装を汚してはいけないので最初に顔と頭を作るのがセオリーだ。かつら下ともいう目吊りの羽二重を頭部に装着し、パフでドーランを塗りそして髻をのせる。スターさんたちは、同じ部屋で椅子に腰掛けたままメイクさんに顔や頭をまかせている。その様子を羨望のまなざしで眺めていたのは自分が10代の頃のことである。いまでは当たり前の光景だが、当時は立場の違いに悶々としていたものだ。頭が終えると向かいの衣裳部屋で自分の名が貼られた衣装を受け取り楽屋に戻って着用する。同じ部屋のNが袴の帯にもたついていた。衣装は袴だから帯の結びは十文字である。Nは年上だが同期であった。準備がおわると出番の呼び出しが掛かるまで1階の談話室で待機である。

多くの大部屋が談笑しながら珈琲の香りを愉しんでいた。台本を耽読するものもいる。朝メシにパンをかじる者もいた。みな出番が来るまでここで過ごす。そんななか、斬られ役で名を馳せた福本清三先生の姿があった。殺陣の師匠だ。真っ先に挨拶する。よおという返事が返ってくる。鼻梁の高い痩せた老練の剣客だ。片頬でちょっと笑い、

「きょうはあんた仕出しかいな」

もの静かな口調でそう訊ねてくるので、

「ハイ」とこたえと、

「わしもや」と満面に深いしわを湛え苦笑いをする。仕出しとは台詞のない端役のことをいう。アカデミー賞俳優といえど京都では仕出しも当たりまえなのである。

そんな談話室には、ときおり里見浩太郎さんがあらわれる。手には差し入れのアンパンをぶら下げきまぐれにご機嫌伺いにやってくる。いったいだれのご機嫌伺いなのだろう。しかし場の空気は一変する。大御所が姿を見せるとみな緊張したような色を滲ませるのは、里見さんがこの地で永年歴史を刻んできた証左であろう。自分もアンパンを頂いたが先輩たちが律然とするほどの緊張感はあまりない。むしろ身近な先輩ほど畏れ多い。

太秦には、東映のほか、松竹撮影所がある。ともにかつてのような隆盛を極めた華やかなりし雰囲気はないが、物づくりに賭ける人々の活気は、時代を経てもなお色あせる様子はない。みなそれぞれの矜持がある。仕出しも同様、関わった作品への思いは一人である。

なかでも吉田啓一郎率いる吉田組のシゴトは印象深い。かれは鬼平や伝七、おみやさんなどを手がけた強面の名監督として有名である。わずかの失敗も容赦なく、絶え間なく怒声を発する鬼のような仕事師だ。そんな監督の現場に、Nとともに何度か呼ばれたことがある。

ホワイトボードに容疑者4名の写真をマグネットで貼り付けたある刑事ドラマのワンシーンでのこと。夏の暑い盛り。捜査本部の刑事役として、カメラの袖で長い待機を強いられていた折り、視線の先にある4枚の写真の四方が反りはじめていた。両面テープで貼り付けるなど、気づいた者が即座に指摘をするべきだったがそれは間に合わなかった。撮影開始直後、現場に入った吉田監督はそれをみて忽ち激高した。助監督を呼び、写真の反りを指差し、怒鳴り声をあげながらその手で彼の頭を殴りつけたのである。

「映画では丁寧な仕事をするくせに、テレビだからって手を抜くやつは承知せんぞ！」

鬼のような形相で、監督は咆哮した。現場に響き渡る吉田監督の強烈な怒声に、そこにいる者の多くはその迫力に気圧され、また戦慄した。Nは真っ蒼であった。メガホンから放たれる監督の猛々しい響きは、まるで命懸けの戦いを指揮しているかのような凄まじさが籠められていた。撮影所は、まさに圧倒的な熱量に包まれていた。

そんな作品の多くが、放送を目前に控え、あるいは劇場での封切りが間近に迫っていた。いまとなっては耳朶を打つ監督の怒声も心地いい。かかわった多くの作品の公開をみな心待ちにしていた。が、そんな矢先、日本列島は未曾有の事態に直面する。

国境を越えた目に見えぬ疫病の蔓延である。ニュースはそれの一边倒であった。

やがて首都圏を中心に騒動はしだいに拡がりはじめていた。まるで日本中が光の届かぬ暗渠に溺れようとしているかのようなようだった。もはや対岸の火事ではない。東京との往来の激しい東映京都撮影所は早い段階で撮影の休止を決めた。感染拡大の懸念から全国の劇場も閉館。封切り間近の作品はことごとく公開延期となった。駅前の雑踏も、太秦の町の喧噪も、そして活気あふれる撮影所の彩りも、またたく間に色が抜け落ちたかのように寂寞とした。あれほどの熱量を生み出していた東映は、その門を閉じた。

京都に居場所を見つけられず、わが身をして都落ちした。

姫路にある実家で時を待ち、家業の犬屋で日夜犬たちの世話に明け暮れることにした。犬たちは世間の騒動など知る由もない。あたりまえだが彼らは日常と変わらぬ生活をしてきた。たくさんいる犬たちの世話はけっして楽ではない。盆も正月もない仕事だが、大勢の従事者に囲まれた安全で安定した職場だ。奈良の兄を頼って京都を離れたNからすれば自分は恵まれた環境にいることは間違いない。理屈ではわかっているがどうしても気持ちがそこに傾かない。俳優の仕事と比してそれは退屈で刺激がなく、ただ敷かれたレールの上に乗っかつ



ているだけの物足りない時間の連続であった。その変化のない毎日に耐え切れず家を飛び出したのが、まるで昨日のことのようである。苦しくてもつらくても、やはり大部屋がいいと思った。

2ヶ月が経過し京都にもどった。緊急事態宣言が解除され、社会はしだいにその機能を取戻しはじめていた。町は少しずつ回復傾向にあるが、夜の花街は人出もなくいずれも静謐である。どこも玄関に打ち水がまかれ灯籠には灯が入っているものの、客足はまばらだ。通いなれた祇園のお座敷にも久方ぶりに顔を出したが他に客はいない。通りの花見小路には観光客の姿さえも見えなかった。

女将に、撮影が再開されたという話を聞いた。意外だった。自分も知らない身内の情報をなぜ彼女が知っているのか。何かのニュースにでもなっていたのだろうか。しかし疑問はすぐに解消された。奈良の兄のもとで糊口を<sup>ま</sup>こいでいたはずのNが、ひょっこり店にあらわれ、撮影所の帰りだといって一杯飲んでかえっていったというのである。彼も常連のひとりだった。何となくNに出し抜かれた気がした。単なる仕出しというが、自分よりも先に仕事を得たNに嫉妬に似たものを感じずにはいられなかった。

そんなことがあって暫くのこと。Nが、何の前触れもなく突然引退した。同じ部屋の者はみな驚き落胆した。誰にも相談せず、また、あとを濁すこともない潔い引退だったと、先輩方は評した。年を重ねるごと演技の幅を保てなくなった自分に自信を失ったというのがその理由だった。誰も引き止める者はなかった。何だか身につまされる思いがした。彼は、兄の勤める奈良の不動産会社に就職した。

夏至を過ぎ、漸く撮影所に活気が蘇ってきた。スターさんたちの出入りも多く、ドラマや時代劇の撮影本数も順調に増え、ステージ棟には、菅笠浪人を取り囲んだ多くの二本差しの侍が何台ものカメラの前で激しい立ち回りを演じていた。自分もそのひとりであった。

現場には、相変わらず監督の怒声が響き渡っていた。十分な芝居が仕上がっていない。何度もカメラが止まり、その度ごとメイクさんが走り衣装さんが駆けつけた。汗の吹き出た役者の顔を直し、あるいは乱れた着物の襟元に手をかける。殺陣師が厳しい口調で動きをつける。そこへ容赦なく監督がたたみかける。現場は熱気と緊張が充満していた。これこそが撮影所の醍醐味だ。

汗と泥にまみれ、久しぶりに照明を浴びた。

清十郎

★:私は、健康診断を行う事業所で検査業務に携わっている。4/7に緊急事態宣言が発令され、職場も休業、6/1に再開された後は、感染予防の対策が色々取られることとなった。入社・退社時の検温・健康チェック、手袋・マスクの装着、透明の仕切りシート越しの対応、(検査によっては、フェースガード・ガウン着用)一人対応する事にアルコールでの拭き取り消毒と通常の作業に加えての手間が増えた。健診を受けられる方も検温、手指消毒してからの受付となる。三密を避けるために受け入れの人数を減らし、受付時間枠を増やしての対応をしているが、6~7割に制限されている。以前は、待ち時間が長くお叱りを受けることがあったが、今はスムーズに検査を終了している。コロナウィルスもこのまま終息するとは思えず、今の作業が通常の作業手順になると思われるが、特定健診が始まるとどうなることか……。心配です。

blackbook

## 会員だより 2008

★：勤めている福祉施設で畑の世話をしている。ついこの間はニンジンをとくさん収穫し、どう消費しよう？と利用者さんたちと相談。結果、ニンジンケーキを作ることに。だが、提案した側もされた側も作ったことはおろか、食べたこともなかった。果たしてニンジンをケーキに入れて本当に美味しいのだろうか……？と不安を抱きつつ、有名料理研究家のレシピを参考に皆であーでもないこーでもないと格闘しながら作って食べてみると、一緒に入れたシナモンやクルミが良いアクセントになり、手前味噌だがかなり美味しく出来上がった！固定観念にとらわれず、何事もトライしてみるものですね～と皆で笑いあった一幕に心癒された。

IKUJIN

★：私には中学生からの親友が4人います。其々 八尾市 東京の青海 横須賀 高砂と離れています。毎年 関東、関西組が相互に幹事になり 10月半ばに同窓生 10人あまりで 2泊3日の旅行を楽しんでいました。今年は千葉県の前定でしたがコロナ禍で見合わす事に。特に横須賀の彼女は災害が西にあれば大事ないかといつもメールをくれるのにコロナの中で連絡がなく首都圏でもあり心配しておりました。我慢できず私の方から連絡をとり無事を聞き④3ヵ月間の自粛生活は影響大で体力・気力がなかなか戻らないと言うことでした。若い時4人で無謀にも立山山頂～尾根を歩き剣御前まで行った事が私が山に憧れる始まりでした。「何気ない日常がなんと幸せな事か」と語りながら又の再会を誓いました。

jyunko

★：毎日テレビをつけてもコロナ、コロナと楽しく観られる番組が少ないねとリビングのテレビを買い替えました。選んだポイントは Amazon プライムや YouTube が映せること。家族がそれぞれおすすめ動画を紹介しあって楽しんでいます。昨晩は初めて zoom アプリをスマホに入れて数人の友人と zoom 飲み会をしてみました。各自が自宅なので安上がりで楽しんで、自粛生活をもたらした楽しい出来事です。

あやこ

## 編集委員だより 2008

★：高御位山遊会の登山が全て中止になり、私は初めて一人山登りに挑戦した。絶対、近くの山でも一人では登れなかったのに、最近は平気になった。この頃、登っている山は、低いが多様なコースがあるのを発見して、行く度にコースを変えている。これが中々面白くなった。約2時間前後でスタート地点に戻ってくるようにしている。登山時間を変えてみたら、人に出会うのも少ないのが判った。面白いと思うようになったが、やっぱり一人は淋しいな。

T, anden

★：小学生だった長女が、“めずらしい花がさいていたよ”と黄色い小さな花束を差し出した。初めて見かけた野の花に心を寄せた娘の気持ちがうれしかった。その後空き地や土手で度々見かけるようになった「オオキンケイギク」は私の大好きな花の一つとなった。先日の新聞によるとこの花は外来種で強い繁殖力で生物多様性を変えかねないため栽培や運搬は禁止されているとのこと。本来の植物たちと何とか共存できればいいなと願っている。

k. yama

★：新型コロナ感染症は発症すると高齢者や特定の持病のある人は重症化し易いと言われている。新しい感染症のため、対処療法も確立されてないだけに、重症化の条件がそろっている私は感染すること事態が、致命的となるため、4月の外出自粛要請以来、極力外出しないようにしてきました。5月末緊急事態宣言が解除された後もウィズコロナの状態のため、私自身は自主的に外出自粛を続けてきた。高砂市、加古川市、姫路市では5月14日以降、約2ヶ月間発症者が出てないので、まず大丈夫かなと思っていた矢先、7月に入ってパラパラと発症者が出ており、まだ暫らくは自粛生活が続きそうです。見えない相手だけに油断禁物です。安心できるワクチンと治療薬の早期開発が待ち遠しいです。

なべ

★：最近物忘れがひどくなったなど自覚することが多い。似た年頃の人に話すと“自分もそうだ”という返事をもらう。仲間が居ると少しほっとする。体力も落ちた。コロナで人の少なくなった桶居山を歩いて体力をつけようと想ったが、梅雨と重なって雨模様ばかり。ま、ぼちぼちと行きますか！

W a d a

★：針に糸を通すことが億劫になってきた近年、必要に迫られること以外ミシンを使うことなどなかったのに、自宅にすることが多くなった事とちょっとした偶然が重なってミシンを使って小物を作り始めた。手始めはマスク、品薄なマスクを求めて奔走するよりは自分で作る方がよかった。学校や保育園が始まると孫も喜んでくれた。今はスタイ、袋物などを作って楽しんでいます。

Ouchi

★：高御位山遊会の機関紙8月号「新型コロナ緊急事態につき特別編」いかがでしたか？会員の皆さんがこのところのコロナ禍による自粛生活を余儀なくされ、山行報告もなし、山行案内も近郊の山ばかりで記事が少なくさみしい限りです。そこで、2019年度例会山行参加実績ベスト3の方々、及び普段知ることのない俳優さんとか看護婦さん、若い人のコロナ禍自粛生活の報告などをテーマとして執筆をお願いしました。それから会員の上田利昭さんが長年の山行生活の総括、集大成ともいえる山の記録を綴った本を自費出版されましたので”さわり”だけですが、紹介させていただきました。

fujimoto

## 会員だより 2006\_07

★：昨年11月の山行で生駒山・宝山寺でおみくじを引いた。凶だった。年が明けて間もなくコロナ禍に陥った。3月には私自身もコロナ？と思われる症状が起り不安な時期が続いた。毎日クギ付けのテレビ画面から井ホームステイ・・・と自粛生活コールが続き現在に至っている。春山は遠のき花の季節は味わえないまま終わった。夏山も紅葉も諦めた。なんて残念な年になってしまったのか。年末にはリベンジおみくじ登山に行くとした。

モーニングおばさん

★：娘婿の事務所移転祝いに胡蝶蘭を沢山貰ったらしい。胡蝶蘭は豪華な花なんです。花が咲き終わった後の苗は誰も貰い手が無いと言う（^ω^）昨年の今頃一挙に私が引き受けることにしました。以前カトレアを収集していたので、その時の室内用温室を復活させ30鉢程の苗を温度や太陽の光・水分などを見ながら育てています。その甲斐あって今年4月初めから白やピンクの大輪の花が咲き始め、今もまだまだ元気に咲いています。婿殿がいっぱい運んで来てくれたお陰で？また、昔のように蘭にハマってしまい、今は植え換えなどをしながらオウチ時間を楽しんでいます。

A. Hiraishi

★：昨年5月、僕は一生の友を失ったようだ。今年になりパソコンからひょっこり出てきた彼のツイッターの文面に、声は震え涙した。「失いたくない友へ」

プレッシャーに負けない人の生きる活力とは  
好きなことに没頭すること！没頭出来る状況を維持し、それを後世に継続供給してあげること。  
泣きたいときには大泣きし、躊躇せず助けを呼び、逃げる勇気をだせ！

「才能とは、自分が苦勞しなくても出来る事」 みんなの為に才能を使おう！

NHK あさイチより 東京タラレバ娘の漫画家 東村アキコ氏の言葉

フラット・ハッシュタグ

## 編集委員だより 2006\_07

★：朝ドラがもうすぐ休止になる。長年続けてきた朝の生活リズムが変化するかもしれない。夜は週に2話ほど恋愛ドラマを見てハラハラドキドキ楽しんでいたが、最近は再放送が増えて見る気がなくなった。ほぼ毎日「ニュースウォッチ9」それから「報道ステーション」と無味乾燥な時を過ごしている。何とかしないと・・・

Sen

★：コロナで生活は大きく変り鬱々の日を過ごしている間に季節はもう紫陽花の頃になった。友人宅では色々な品種の紫陽花が咲きだしたと便りがあった。毎年、紫陽花観賞とお茶会に数人招かれるが今年は3密を避けお花の観賞のみ。お茶会は残念となったが10種類の紫陽花の色合や形を楽しむことができ、久しぶりに友人とも会えて気持ちも和んだ。

miki

★：今年の夏山は、8月2日に上高地の西糸屋山荘で集中の計画だったが、政府の緊急事態宣言や長野県からの要請で北アルプスの全ての山小屋が7月14日まで営業休止となり、今年の夏山集中山行は中止となってしまった。6月9日現在の世界の感染者は712万人、死者は40万人となっている。通常のインフルエンザの様に人類と共生できる日は、いつ来るのでしょうか？

もり

## 編集委員だより 2005

☆：ネットニュースで「ミツマタの花が満開」と写真が出ていた。調べてみると一宮町の本谷に群生地があると知り出かけた。杉林の斜面一帯に「ミツマタ」の花が咲いていた。沈丁花の花に似ていて、斜面の下から見上げると黄色く、上から見下ろすと辺り一面を白く覆っていた。トトロ・フクロウなどを杉の切り株で製作された木工アートもあり、インスタ映えのするいい場所でした。

blackbook

☆：輝かしく明けた令和2年に、まさかこんな春が来ようとは。昭和には国と戦い、平成には天災と戦い、そして今、令和には未知のウイルスと世界中が懸命に戦っている。兵庫県にもついに緊急事態宣言が出された。今こそワンチームで国民が心を一つにして頑張らねばと思うが、感染拡大はとどまらず医療崩壊の危機がそこまで来ている。医療、福祉現場で働いている人の苦労を思うと胸が痛い。この状況で風邪でもひいたら、骨折でもしたらどうなるのかと、不安は募るばかりだ。

Sigepyon

☆：今年の春はコロナウイルスによる外出自粛等あり、なんとなく落ち着かない日々が続いているが、桜の花は例年のように美しく咲きそろい楽しませてもらった。開花期間が長いようだがこれは3月末からの気温が低かったことも影響の一つだろう。コロナウイルスに効果がある薬やワクチンの誕生を心待ちしている。

r-sawa

☆：昨年の春に種菌を打ち付けたホダギからシイタケが芽を出してきた。庭の片隅にホダギを7本、その内3本の彼方此方からシイタケが芽を出している。初めての栽培なので、これから、どれだけ大きくなるのか楽しみであるが、ナメクジに食されるのが心配な今日この頃である。

E n y a

☆：新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け国の緊急事態宣言が発令された。強制ではないと言いつつ、自粛ムードが広がる。自粛したいが、できない(必要ない)人もいるのだ。私はその時代に生きて経験したわけではないが、歴史が語る「戦時下」の暗い状況に少し似ている。「ほしがりません、勝つまでは」「こんな時に」などという言葉が浮かんでくる。一致団結もある程度必要だが、住民同士の相互監視社会にならないでほしい。

fujimoto

## 会員だより 2005

☆：東京オリンピックが来年に延期しました。1964年東京オリンピック当時は中学校生でした。国道2号線に学校から聖火ランナーを見に行ったことを覚えています。市川崑監督の「公式記録映画」を加古川の映画館に見に行った事も…… 今も机の引き出しに「千円記念硬貨」・郵便局で並んで買った「記念切手」が思い出として残っています。あれから半世紀が過ぎた……。来年の開催を楽しみにしています。

Tomio

☆：どこも「新型コロナ」一色である。今日も、加古川で二十歳代の感染者2例目の報道があった。不要不急の行動の自粛を要請され、先の見えない状態で、子供だけでなく年配者もストレスが溜まる毎日である。桜も満開になり、飼っているメダカは食欲旺盛で泳ぎ回っており「コロナ」は関係ないようで羨ましい。小林旭の自動車ショー歌「ここらで止めてもいいコロナ～」のように早期終息を願っています。

ハッシー

## 編集委員だより 2004

☆：6月に女性委員会で自分が山行を計画することになった。初リーダーである。3月の良い天気の日先輩と3人で下見に京見山に登ってみた。近場の山、里山と軽い気持ちで登ってみたのだが、中々の山であった。里山はむつかしい。沢山の道が出来ていて道迷いがある。確か本でそのような事を読んだことがあったが、その通りである。迷ったけど面白かった。下山後、JRはりま勝原駅近くのパン屋さんで珈琲とパンを食す。あ～楽しかった！

T. anden

☆：春から秋にかけて花壇を彩る「ペチュニア」。季節に楽しませてくれた花は花期の終わる秋が過ぎて、冬がきてもまだ咲いている。暖冬とはいえ戸外の鉢で3本の枝から花を咲かせている。今年ももうすぐペチュニアの季節がやってくる。このぶんだと2年越しで咲き続けるかも知れない。突然変異なのだろうか寒さに強い丈夫な苗に育ったようだ。大事に見守っていききたい。

k. yama

☆：ここ1年は温暖化の影響で数十年に一度という局地的な集中豪雨や大型の暴風雨による大きな被害、また、夏場の異常な気温上昇、最近では記録的な暖冬による雪不足など災害列島化している。異常気象の常態化は日本の四季のうつろいをも判りづらくしていると思う。いよいよ登山のシーズンを迎えますが、私達の山行は3～6ヶ月前から計画しており、花の季節、夏場の高山植物、秋の紅葉など最適な時期の予測が、さらに難しくなってきた。山行リーダーがいろいろな情報を基に日程を決めていても、期待外れになることが増えるのではと心配です。

なべ

☆：先日、裏山（桶居山）に登った。頂上から東に降り始めたらちょうど東側から頂上に向かってくるグループがあり、先頭のリーダーらしき人が、さあオケイ山に着いたぞ！とのたまわった。オケスケ山だかなあと思ったが訂正はしなかった。下を見ると大勢のグループである。中高年の人達であるが人数はざっと20人ぐらいである。どちらから来られたのかと聞いたら、浜松との返事。遠方のお客だった。

W a d a

☆：第21回「初めての山歩き教室」がまもなく始まります。メディアのおかげで、今年も多くの方の応募があり、新しい出会いを楽しみにしているところです。教室生が安全で安心をして山歩きができるように、微力ながら手助けできればと思っています。

Ouchi

## 会員だより 2004

☆：先日娘夫婦からスマートウォッチをプレゼントされた。話では歩数、距離、消費カロリーはもちろん心拍数、天気、ストップウォッチ、アラーム等も表示してくれるらしい。早速腕につけ歩くと、1 km毎に軽い振動で知らせてくれるし、歩数目標を設定すれば達成すると振動で知らせてくれる。私は1日7000歩で設定したが、達成するために近くはなるべく歩いたり、もう少しで達成となればまた歩く。目標の大切さを再確認した。またスマートフォンにアプリをダウンロードすると(私は出来ないので娘婿にしてもらった)睡眠状態を分析してくれて深い眠りが少ないとか、眠りにつく時間が早いとかグラフにして教えてくれて参考になる。次回の山行には是非携帯したいと思っている。

takamikura304

☆：2020年を迎え、いつもニコニコと楽しく過ごせればいいなと思っています。健康維持！をと、毎日ウォーキングをしています。家を出て、田んぼを抜け、川沿いを歩き、公園の階段を上り下りし、そしてため池の周囲を歩きます。花・樹、野鳥のさえずり、水・風の音、そして雲の流れ。自然を満喫しています。本年は土曜トレには必ず参加し、山行には積極的に挑戦したいと思っています。\*新型コロナウイルスの早期終息を願っています。

nishihiro



## 編集委員だより 2003

☆：先日の新聞報道でトヨタ自動車が急発進防止装置を装着した新車を発売する予定と出していた。最近の急発進事故の多発に対応したシステムのようなが日本車は総体に加速度が高いように見受けられる。日本の道路には信号機が多くあり、それに対応した車になっているのだろう。片方では燃費が非常に良くなっていると宣伝、しかし、ゴーアンドストップを繰り返しては、その良さは感じないのでは？

Enya

☆：使い慣れたスマホ登山地図ヤママップの無料機能の一部が有料化された。有料会員の負担額は Office365 と同じくらい。とても払う気になれない。無料版は山で独自ナビが使えなくなった。ヤママップ地図に登山道が表示されている部分を歩く限り何とかナビとして使えるが、登山道の記入のない里山では不便この上ない。安全をお金で買えると言われればそれまでだが・・・。そんな私がセカンドステップで「山アプリ”YAMAP 紹介”」の講座を受け持つとは。もう辞めたい。

fujimoto

☆：生まれて初めてのいちご狩りを体験！暖かいビニールハウス内に高設栽培の台がぎっしり並び、4種類のいちごが育っていました。熟れだしたロマンベリーに案内され、真っ赤でつやつや光っているのを狙い収穫。果汁がたっぷりでたいへん甘く、次々手が出ました。それから章姫、細長い形で色が淡く少し早めのようなようでしたが、わずかな酸味で甘さが引き立ち、これもまた美味！と～っても幸せな 30 分間でした。

Sen

☆：昨年今頃、神大ヒュッテの薪ストーブで食料担当の 0 さんがピザを焼いてくれた。パン教室伝授の食材を準備して本格的なピザが出来た。山で焼きたてピザは美味しすぎて皆で感動した。その後私もパン教室に通い始めた。初級コース最後の受講はピザ作り、あれから 1 年、氷ノ山山行を思い出しながらピザを作った。2 月から中級コースに進みいろんなパンやケーキ作りにチャレンジする。

miki

☆：日本の平均寿命は、女性が 87 歳、男性が 82 歳ですが、世界で何番目かご存知でしょうか？男女とも香港が第一位で日本は第二位です。それでは日本が世界一は何でしょうか？それは寝たきり期間（要介護期間）で女性が 12 年、男性が 9 年です。それは、下半身の筋力の衰えが主因と言われています。健康寿命を伸ばすために登山を通し、日頃の筋肉トレーニングに励みましょう！！

もり

## 会員だより 2003

☆：今年から参加した山行をノートに記録しておこうと思いました。元旦に去年参加した山行も思い出してノートに書き上げていきました。「たくさん参加したなあ。」と思いながら登った山を思い出していました。元旦に書いたのでついでに元旦の出来事も書いてみました。二日目も一日にあった出来事を書いてみました。三日目も書いてみました。書いてみるとおもしろくなって、今では毎日日記を書いています。

A. T

☆：生まれたての赤ちゃんが突然にやってきた(@\_@)。長年の不妊治療が実らなかった娘夫婦の家族の一員になった。まさに「捨てる神あれば拾う神あり」。生れ出て早々、運が良かったのか？それとも否か？その運命と共に歩もうと決めた娘夫婦の勇気に拍手を贈りたい。誰にも平等に与えられた命だ。睦まじく育み、幸せを呼び込んで(\*\_\*)と祈るばかり…のバーバです。

Iteru ☼

☆：年末に熱が出て、元気の取り柄の私がインフルエンザにかかってしまう。熱は一日で下がったが、人に移すと軽く済むと言われるが、わが家でも主人が4日間、高熱で寝込んでしまった。お正月に子供や孫たちと会うのを楽しみにしていたが、お医者に一週間出歩かない様に言われ、2人して寝正月となってしまった。本当に残念であった。二人して健康であることの大切さをかみしめた年明けでした。

苦瓜

## 編集委員だより 2002

☆：我が家に猫が居る。黒猫で名前はクロである。真っ黒なため夜は姿が消える。ガラス戸の所から内に入れてくれとニャーニャーと鳴いても姿が見えない。忍者が黒装束になる意味がよく理解できる。今は家猫だがかつてはノラだった。家に入れてやる度に足を拭いてやるが結構面倒である。何かいい方法を誰か考案しないかなあ。

W a d a

☆：初めて沢庵漬けをしました。友達のお母さんから漬け方を教わって漬けました。ネットで検索すればいろんな漬け方がありますが、やはり長年やってこられたおふくろの味にはかないません。今美味しくいただいています。切り干し大根も作りました。今まで食べきれない大根が畑で花を咲かせていましたが、今年は、もっと植えておけばよかったと思うぐらいです。

ouchi

☆：今年の元旦の高御位山は、風もなく穏やかな初日の出でした。山頂は、いつものように混雑しており、人をかき分けながら移動する状態でした。高御位神社でお神酒をいただき、お参りした後いつもの場所へ。明石大橋・淡路島から四国まで見渡せる場所、ご来光を見ることができました。高御位山から見る日の出は、今の時期が良く、「飛翔の碑」越しに加古川市街の夜景が広がり、その先からゆっくりと夜明けが始まり太陽が昇ってくる。大好きな場所です。

blackbook

☆：♪何を残そうかな～今日生きた記念に～ へたけど精いっぱい頑張ったんだから～♪ 昨年、年明けの生番組で岩崎宏美が歌っていたこの歌が心に残って歌詞を書き止めていたのだが、今年、同じ番組で再び聞くことが出来て嬉しかった。いいことだけ残そう、嫌なことは置いて行こう。そして、次のフレーズがいい。♪明日は明日の～私が生まれ～昨日と違う私を生きる～♪失敗しても嫌なことがあっても気持ちを切り換えて新しい自分でやり直そうと。さあー 今年一年もこの歌を口ずさみながら頑張ろーか！

Sigepyon

☆：新年を迎え、今年も来年度からの年賀辞退のはがきが含まれている。この現象は最近増えてきたように思う。ある会合で、年賀辞退について話が出た。辞退を考えている人や書けなくなるときが辞める時と考えている人など様々だ。私は年に一度の付き合いも楽しい。相手と交流していた頃を大事にしたいからだろう。

r-sawa

## 会員だより 2002

☆：私は、2018年加古川市福祉協議会と加古川高砂緩和ケア連携研究会主催のホスピスボランティア養成研修を受講し、2019年4月よりホスピスボランティア「ガーベラの会」の一員として活動しています。活動場所は加古川医療センター・野口町の西村医院・訪問看護の3部門で、私は西村医院に月2回のペースで行っています。内容としては、90歳前後の入院患者さんと約1時間一緒に過ごします。車椅子で散歩もしましたが、病室で話をするのがほとんどです。相手の方は当日決まります。どんな状態で入院され、どんなご家族構成なのかは全くわからずお会いするので、話の糸口を見つけるまでに時間がかかることもあります。しかし、終戦後引き上げ船で本土に帰って来られ、苦勞しながら激動の昭和の時代を生き抜いてこられた方の話を伺うと、このような方のお蔭で私たちが平和に暮らせるのだと感謝です。と同時に、俯いて押し殺すような声で「戦争は絶対にしたらあかん。」と呟かれたのが心に残りました。taniguchi

☆：去年コンビニで流行った「バスチー」はとてもおいしい。ヨーロッパのバスク地方のチーズケーキを参考に作られていて、外はふわっとベイクドのようで、中はしっとりレアのようでもあって、この絶妙なバランスがチーズケーキ好きにはたまらない。この間コンビニに立ち寄ると「トロチー」、「とろテーラ」、「ほぼクリーム」等々おいしそうな仲間が増えていた。順番に食べてみようかなと考え中だ。でも、全部食べた頃にまた新しいのがどんどん出てくるんだろうなあ。。。 Yayoi

## 編集委員だより 2001

☆：本屋へ行き孫への絵本選びをするのが楽しみである。絵本には勇気、思いやり、心を健やかに育てるメッセージが詰まっている。多くの絵本に触れ心健やかに育ててほしいと願う。大人の心に響く絵本もたくさんある。心がへこんだ時、好きな絵本をひろげる。かわいい絵と短くシンプルな言葉が癒してくれる。 miki

☆：今年も11月16日に六甲森林植物園の紅葉を見に行った。昨年は、山全体がドウダツツジで真っ赤に染まって感動したので今年も期待していたが、全くの期待外れであった。黄色い葉っぱや既に落葉している木々もあり見るも無残な光景であった。京都の紅葉の状態も近年になく悪く、葉がきちんと赤くなる前に枯れて散ってしまったり、乾燥してチリチリになっている木が数多く出ていたとか。10月の記録的な多照と雨不足が原因のようだ。西日本一帯では観測史上1位の日照時間を記録した地点も多数あった。これも地球温暖化の影響か・・・。 もり

☆：姫路駅前の芝生でライブがあると弟に聞いたので出掛けてみた。観光客の多い日である。弟含め4人編成の中高年バンドが何曲か弾き始める。演奏だけだと思いきや、なんと途中で弟がソロで歌いだした。寺内タケシの何とかいう曲らしいが、私は知らん。スマホで写真を何枚か撮りながら娘、息子にラインで送ると「おっちゃん若いな〜！」なんて返事が来た。終了後、嬉しそうに「どうだった？」と弟。遙か昔、弟が高校生だった時、友達3人でバンドを組み発表会に出るといっているので見に行った事がある。見る方がドキドキだった事を思い出した。 T.anden

☆：「老いを楽しく生きる」坂東眞理子さんのお話。「脳細胞は歳とともに少しずつ死滅するが、常に新しい出会いを求める、新しいことにチャレンジをするなど変化と刺激のある生活を心掛けることにより脳細胞同士の関係を活性化させ生き生きと活動をする。人生を豊かにする」と。眠っているかのような私の右脳を刺激するために、今年は“図画工作”に挑戦してみようかなと思う。 k.yama

☆：以前、関連する投稿をしたことがありますが、注文していたA精肉店のコロッケをやっと入手出来ました。注文してから9年目です。早速、揚げてもらって食す。確かに肉汁も多くジューシなコロッケでした。数年前は納期13年で一旦受注をストップしていましたが、多くのユーザーの要望で受注を再開しているそうです。現在注文（一人当たり5個限定）すると17年先になるそうです。それでも注文が殺到している由。物好きな方が多くいる事に安心しました。興味がある方は一度挑戦して下さい。 なべ

## 会員だより 2001

☆：Windows 7のサポート終了が迫り、いよいよパソコンの買換え時期と思っていましたが 11月に駄目もとでWindows10へのアップグレードを試み約3時間程で完了し、シンプルな7から比べると夢のある画面で感動でした。インターネット世界は日々進化し急速なライフスタイルの変化に戸惑う。相對して老化する自分がどこまでついて往けるのか不安もあるが楽しみでもある。山行には欠かせないパソコン・・・これからも分身でよろしく。

tancho

☆：我が家には犬、黒柴（千香）、今年の4月に猫（さくら）、1週間遅れてもう1匹（りん）が家族に加わりました。2匹共女の子です。千香は来客があってもワンとも吠えません（番犬失格） さくらの性格はボス的な存在 りんは絶えずさくらを警戒している。家の中では人間より猫の方が上位である。猫に嫉妬しても仕方がないが、まあ 見ていると2匹の食べる格好、全速力で追いかけて走り回っている姿、仲良くくっついて寝ている姿、やっぱり、可愛いです。前の猫は2年足らずで亡くなり、今度はいつまでも元気で居て欲しいと願っています。

M・T

☆：右膝に血液の混じった水が溜まってから、5か月ぶりに10月の土曜トレで「千町やけの小屋」泊に参加させて頂いた。久しぶりに山の空気を吸い、楽しい話を聞き、皆さんの元気なお顔に出会って、又山へ行きたいと思えるようになりました。自分のペースで少しずつ地元の山を歩いてみて、山行に参加出来るようになれば、よろしくお願ひします。

こゆき